



国際交流のひろば



令和2年度留学生が語る／留学生と語る会

12月9日(水)13時30分から第2講義棟103教室において、留学生が語る／留学生と語る会を開催し、市民、学生、教職員など27名が参加しました。

吉田留学生支援専門部会委員の進行のもと、『田舎暮らしについて語ろう』をテーマに、会の前半では米農家と農家民宿うしだ屋を経営されている牛田様ご夫妻から講話いただき、後半では留学生や参加者の皆さんと一緒に意見交換を行いました。

参加者からは「講演を聞いた後の留学生の正直な感想が聞けてとても良かった。今失われつつある自然や食の大切さを改めて実感した。特に新型コロナウイルス感染症で世界中が生き残る上でも今後考えるべきことだと思った」「このような風景がなくなったら惜しいと改めて考えた。田舎の生活も選択肢の一つであることも考えた」「自分の今後の人生について考えた。それぞれの人生には、それぞれの意義があると思った」などの感想が寄せられました。

当日は、教室の窓とドアを開放して換気を行い、入室前の体温検査測定、アルコール消毒などの感染症対策をとり実施しました。



外国につながる子どもたちへの修学支援事業 「冬休みの宿題教室」



12月23日(水)～26日(土)「冬休みの宿題教室」を実施しました。これは上越地域在住の外国にルーツをもつ児童生徒を対象に冬休みの宿題の学習支援を行うもので、留学生及び日本人学生19名が支援者として参加し、支援を受けた児童生徒は18名でした。支援者は冬休みの宿題の中で、一人では取り組むことが難しい部分を中心に学習支援を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web会議システムを利用したオンラインでの開催となりましたが、児童生徒は集中して学習を進めていました。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)